

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	JIN KIDS sakruai (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6 (回収率100%)
○従業者評価実施期間	2026年 1月 7日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童の個別特性に応じた安全管理や引き継ぎ時の丁寧な情報交換	・要望に応じて面談や相談時間を確保できている ・連絡ノートや振り返りシートの記載と社内SNSの活用によりスタッフに情報共有を行なっている ・内容により対応するスタッフを事前に決めたり、確認項目について事前確認を行なっている	・面談や相談内容を必要に応じて支援計画に反映していく方法の検討 ・内容により対応がスムーズな職種・職員が入れ替わるよう、スタッフ間の連携を図る ・朝礼時に確認相談項目について確認
2	・避難訓練等に高頻度に取り組み、マニュアル等に反映できている	・月間活動案に取り入れ、毎月必ず実施する体制が取れている ・振り返りで出た内容を記録し、次回訓練やマニュアルやアクションカードへ反映している	・訓練に際して安全管理計画やさまざまなマニュアルについて職員に周知し、見直すべき箇所の洗い出しの行い ・放課後デイと児童発達支援との連携した動き、スタッフが手薄な状況を想定した重症児の避難方法の検討 ・職員の身体負担に配慮した安全な介助の検討(労災予防)
3	・療育記録、振り返りノートの記載内容・状況	・健康状態や支援内容等を細かに記載できている ・多職種が関わる中で、療育中の隙間時間や振り返りで譲り合いながらそれぞれの職種での気づきや記録すべき内容を効率的に記載できている	・記録や定期的なMTで検討した内容を次の支援や支援計画に反映する方法についても検討が必要 ・記録媒体(誌面)が複数あり、重複して同一内容を記載する手間が増えているものもあるため、書式や運用方法については見直しが必要

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・所外で他園の児童に関わる機会があまり持っていない	・所外活動機会は増えたが、他園や地域の児と関わる機会は依然として少ない状況 ・ケアや通常の支援のスケジュールとイレギュラーなイベント時の調整を行うための事前準備、確認必要	・園単位での交流や、福祉センターでのイベントなど安心して出かけられる環境、継続して取り組める内容を検討する ・ケアや支援のスケジュールの調整の幅を確認し、具体的なイベントや外出の計画の立案を検討する
2	・保護者や兄弟児等との交流やつながりの支援	・通常業務と企画担当などの両立が難しく、本人支援が中心になっており、保護者・家庭支援についても個別の対応となっている ・保護者によりニーズの有無や必要としている情報等が異なっている状況	・就学を考える会を本年度も実施できた。ライフステージに応じた必要な支援は継続し、障害像の異なる児に関する支援として一般化しつつ個性を残した実施方法の検討が必要 ・企画担当を係とするなど責任者を置いて取り組む ・家族単位で参加できるイベントから保護者支援、兄弟児支援の分化を検討する
3	・個別支援計画と療育活動計画の立案の一体的な運用	・支援計画立案は児発管中心に行なっており、現場で主に支援を行う複数の非常勤職員と十分な意見交換機会、時間の確保ができていない ・日々の振り返りや利用児個々の変化を支援計画に反映する、計画を年間計画に沿った全体活動計画へ反映し、個々の配慮点を踏まえて介入する流れが作れていない	・月1のMT以外に、全体朝礼後、児発・放デイに別れて打ち合わせを行うなど、必要な内容を過不足ない時間で確認できるようにする ・振り返りの実施方法や記録用紙を適宜見直す ・モニタリング時に振り返り資料や現場職員へのヒアリングを行い、計画の修正時に反映する取り組みに取り組む

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 JIN KIDS sakurai (児童発達支援)

公表日 2026年3月25日

6名

利用児童数 6名

回収数 (回収率: 100.0%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	6	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	0	4		
保 護 者 へ の 説	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		
	18-1 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか	3	1	0	2		・次年度も本年度に引き続き、就学に向けた先輩保護者様との交流会を企画したいと考えております。
	18-2 父母の会や保護者会があれば参加を希望するか 希望があればどの様な企画を希望するか	4	1	0	1	・制作した作品の作品展	その他、在園児・ご兄弟・保護者で参加可能なイベントを検討しております。

明 等	18-3	きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか	0	1	0	5		
	18-4	きょうだい向けのイベントがあれば参加を希望するか（任意回答） きょうだい向けのイベントを行う場合、どのような企画を希望するか	1	1	0	2	・一緒に遊んだり、歌ったり出来るイベント等	・次年度、在園児・ご兄弟・保護者で参加可能なイベントを検討しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		
	非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	0	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	1		
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	1		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		JIN KIDS sakurai (児童発達支援)					公表日	2025/3/25
	チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	6	1	・人数次第では狭く感じることもあると思う。 ・人数が多いとスタッフもおり、狭く感じる。マットを敷きっぱなしにせずに片付けるなど、環境整備を。 ・4-5人が利用するとスペースが狭い印象がある。 ・部屋の配置で、防災備品の置き方を工夫したい。	・物品の収納場所の調整、災害用品の保管方法・場所について持ち出しやすさも含めて点検を行う		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	4	0	・児童や職員の欠席などで配置が難しい事がある ・配置により、その都度事務時間を取れるようにしている。	・引き続きマンツーマン体制を維持しつつ、行事や教材準備時間の確保に努める		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	4	1	・ホワイトボードを使って情報共有できるようにしている。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	3	0	・カーペットがすぐに交換できて良い。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	4	1	・利用状況により、別室対応が難しい事があると思う。 ・カーテンで仕切ることができるようになっている。	感染流行時の隔離方法等については放デイ・児発それぞれの環境下で可能な対応について継続して検討していく		
業務 改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2	0	・関わっている職員が参加できるように、体制を整えてきている。 ・MTで情報共有したり意見交換したりできるのが良い。	・次年度も朝礼→支援→振り返り、定期MT、計画→支援→モニタリングの一連の流れを継続して取り組む		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	4	1	・決まった時期に行われている。	・次年度も定期、不定期面談を実施していく		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	0	・話しやすい雰囲気作りがされていると思う。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6	2		・第三者評価自体の課題や費用負担もあり、現在未実施。代替としてセンターのスーパーバイスの活用なども検討する		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1	0	・様々な部門で定期的に研修会を工夫し、内容もマンネリ化しないように検討されている。	・動画視聴やMT日に合わせて研修を実施するなど参加方法について検討する ・外部研修の案内も継続して行う		
適切 な 支 援 の 提 供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	3	0	・管理者等の決裁を受ける際にアドバイスをもらうことができる	・支援プログラムについても実情に合わせて見直し・更新を行う		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	2	0	・送迎時やメール等で保護者の話を丁寧に聞き取っている	・児発管が作成した素案について担当制で検討した上で、定期MTや日々の振り返りでの事例検討も踏まえて計画に反映していく		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	2	0	・ミーティングで話し合った内容が反映されている			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	2	0	・いつでも見られるように保管場所が共有されている			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	8	0	・標準化されたフォーマルなアセスメントも用いるようにしたい。	・北大安達先生提供の評価スケールについて試験的な導入を検討する		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	4	0		北大安達先生提供の評価スケールについて試験的な導入を検討する		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	0	・リーダーとサブを順に交代し、平準化している	・2名担当制で素案を作成し、コーディネーター職員・看護職員の確認を経て管理者決意を得る形で継続すると共に、年案・月案の立案に複数職員が関わられる方法を検討する		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1	0	・季節物を入れたり、静と動を意識して組み、メリハリのあるプログラムを心がけている。	・同一活動についても、個々の課題に応じた発展・積み上げに着目して展開を考えていく		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	4	0		・活動ごとに個別・集団など実施方法を検討しているが、自由遊び時に個々に適した玩具の用意や個別の取り組みなども検討していく		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	0		・1日または食事介助の担当性を導入し、児1人1人の1日の流れを複数職員で把握できている。個別支援の実施方法などについて検討していく。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1	0		・継続して実施ができていないが、時間超過があるため、勤務時間内で完結できる方法について引き続き検討していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	2	0	・定期的ミーティングをしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	4	0		・スタッフ間で定期的な見直しだけでなく、状況の変化や状態変化が見られた際、見直しを提案していく認識を醸成していく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	0		・現場職員で担当している職員の参加も児童発達支援・実践研修者以外に参加することができ、人材育成の観点からも継続していく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	3	1	・必要に応じて連携している	・必要に応じて担当者会議の開催を検討し、相談支援専門員や他機関との情報共有に努める
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	5	1		・定型・非定型サマリーの作成を標準化できるように、書式の検討を行う
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	0		・担当者会議の開催検討だけでなく、定型・非定型サマリーの作成を標準化できるように、書式の検討を行う
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	6	4	・地域の児童発達支援センターとの連携を図ってきたい。	・現状限られた職員が参加している状態のため、広く職員が参加できる体制づくりを行うなど、連絡方法について検討していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	7	0	・地域のイベントに参加させて頂いたことはあるが、もっと回数を増やしていきたい。	・本年度は桜井福祉センターのカフェイベントなどに参加できた。地域の園や児童館等へのお出かけ・交流について検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	1	0	・受け入れや送り出し時に、丁寧に保護者との聞き取りを行っている。 ・送迎時に伝えたり、必要に応じて時間を作って話したりしている	引き続き実施していく
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	3	・そういう機会があっても良いと思う。	・次年度も就学に向けた先輩保護者との交流会を企画しており、その他本人・家族・兄弟が参加できるイベント等検討していく
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	3	0	・管理者が丁寧にしてくれている。	・特定の職員が契約時に説明等実施しているため、契約や保護者対応等の内容について職員間でも内容理解を図る
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	4	0		・面談時に児童発達だけでなく、現場職員も広く参画し、本人・家族の意向を計画に反映できる体制を整えていく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	3	0	・定期的に行えると良いと思う。	・日々の引き渡し場面、定期・非定期的面談を実施すると共に、内容に応じて職員間での共有・意見集約を図っていく
	39-1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5	2	・情報共有や情報交換など出来る機会があると良いと思う。 ・就学先の決定に先駆けて、先輩保護者の話を聞く機会を作った	・次年度も就学に向けた先輩保護者との交流会を企画しており、その他本人・家族・兄弟が参加できるイベント等検討していく
	39-2	きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	0	4	8	・そういう機会があっても良いと思う。	・次年度も就学に向けた先輩保護者との交流会を企画しており、その他本人・家族・兄弟が参加できるイベント等検討していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	1	0		相談・申し入れがあった場合の対応の流れや、内容に応じた報告経路などについて共有理解を持てるよう、指針等について検討する
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	1	0	・写真を入れて様子がわかるようにしている	児童独自のお便りなどについても検討中
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	2	0		引き続き、個人情報自体の管理とPC等のデバイス管理について徹底して取り組む	

非常 時 等 の 対 応	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	1	0		定期面談、引き渡し時のコミュニケーションなどを引き続き丁寧に行う
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2	2	・クリスマスでは、地域の方にサンタクロースになって頂いた。地域の方と一緒に関わることができる機会を増やしていきたい。 ・クリスマス会のサンタ役を地域の方をお願いしている	・イベント毎の交流、福祉センターのカフェイベントへの参加など、これまでより交流機会は増やすことができた。引き続き取り組む
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	3	0		・マニュアルやアクションカードの更新を行うと共に、定期訓練時の見直しにも継続して取り組む
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	5	0		・BCPの更新を行うと共に、定期訓練と職員研修に取り組む
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	2	0		年度ごとのアセスメントシートの更新と合わせて、日々の服薬状況と発作状況の確認にも継続して取り組む
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	6	0	・対応が必要な場合は指示書があっても良いと思う。	年度ごとのアセスメントシートの更新と合わせて、重症度やアレルギーなどに応じて医師との連携に取り組む
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	3	0	・改善を重ねている	定期訓練時の見直しと職員研修にも継続して取り組む
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	6	0		定期訓練のお知らせと報告等に継続して取り組む
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	1	0		継続して取り組む
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	1	0	・定期的に行えると良いと思う	継続して取り組む
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	3	0		継続して取り組む	